

当科における胎児発育不全に対する管理の検討

1. 研究の対象

2013年1月～2019年12月に当院で管理した胎児発育不全の症例

2. 研究目的・方法

胎児発育不全は現在明確な管理指針が存在せず、管理項目や妊娠終結決定因子については各施設によって様々です。当科における管理方針のもとで出生した児の予後について後方視的に診療録を調査することで、管理方針について再検討することを目的としています。方法は診療録を後方視的に調査し、検討します。

研究期間：人を対象とする医学系研究倫理審査委員会承認日～2021年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：母体→年齢、産科歴、合併症、喫煙・飲酒の有無、経過中のエコー所見など
児→生存の有無、出生後の合併症、神経学的予後など

4. 利益相反

本研究は琉球大学利益相反審議部会に必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとする。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、データ解析完了後や学会・論文発表後に、参加拒否のお申し出をなされた場合は対応しかねる事がございます。予めご了承ください。

研究責任者：

琉球大学病院周産母子センター 教授 銘莉桂子

〒903-0215 沖縄県西原町上原 207 番地

TEL(098)895-1177 FAX(098)895-1426